

あおりは新聞



6

(平成25年6月1日発行)

第 51 号

発行 介護老人保健施設
国立あおやぎ苑
リハビリテーション課
住所 国立市青柳 3-5-1
電話 042-526-5100
http://www.aoyagien.or.jp

ホタル

6月という雨が続き

ジメジメ・ジトジトした嫌な

季節ですね。私の卒業した学校は

青梅にあるのですが学校から車で20分
30分走った成木川沿いに蛍の生息地があ
ります。



みなさんは蛍をご覧になった事はある
ますか？私は初めて蛍を見た時、昆虫が
あんなに力強く光るなんて想像もしてい
なくて、LEDや蛍光塗料を使った悪戯
なイベントだと思ってしまいました。

蛍には大きく源氏蛍と平家蛍がいるの
ですが、それぞれ大きさと光る点灯回数
が違うそうです。私が見たのは源氏蛍の
様ですが、今ではハイブリッドと言って
MIX(混合種)もいるそうです。

東京にもいくつか蛍のお祭りや蛍をみ
れるポイントがあるので、みなさんも行っ
て調べてみてはいかがでしょう？

主なホタルが見れるポイント

・青梅市成木川沿い・最寄り駅東青梅

「6月中旬～7月上旬」

・福生ほたる祭り・最寄り駅牛浜熊川

「平成25年6月15日(土)」

・夕やけ小やけふれあいの里

最寄り駅高尾
「平成25年6月8日(土)～16日(日)」

作業療法士 大瀬 賢亮

特集 『作業療法の”作業”』 第1回

作業療法の「作業」とは何の事？

作業といえば指先を使うような細かな手作業を想像する方が多いと思います。作業療法の「作業」とは、朝起きてから寝るまでに行うすべての活動を指します。つまり、人と話すこと、食べたりトイレに行ったりお風呂に入ったりという身の回りのこと手工芸、音楽、スポーツなどの趣味や家事なども「作業」のひとつです。

作業療法の目的はなんでしょう？

まずは、今自分が困っていることを考えてみてください。例えば指がうまく動かない、服を着るのに

時間がかかる、以前出来ていた料理が作れない、楽しみがない、階段を昇ることが困難、洗濯物を干すことが困難、などなどあげればきりがありませんが、その困っていることを解決していくことが作業療法の目的です。

作業療法は身体機能の向上を図る運動をしたり、活動しやすい環境を整えたりするだけでなく、作業活動を用いてリハビリを行うのが特徴です。次回よりあおりハ新聞では、手芸や園芸などの作業活動の効果や目的についてご紹介していきます。

文責 作業療法士 細谷愛恵 高橋一葉 有島洋平

参考文献 ひとと作業・作業活動

立川南口デイサービスセンターの紹介

立川市錦町2丁目、JR立川駅から徒歩5分程の住宅街に位置する小規模型のデイサービスです。平成20年11月3日に開設し、5年目を迎えています。リハビリテーションを主体としたデイサービスで、個別リハ、パワーリハ、物理療法等を行っています。半日と1日利用があり、開設当初16名だった利用者様も、現在では約100名に増えています。機能訓練指導員1名、看護職員1名、生活相談員1名、介護職員2名、運転手1名(管理栄養士1名/週1日)が所属し、今年より国立あおやぎ苑のリハスタッフも午前と午後、毎日交代で参加しリハビリテーションが更に充実するよう目指しています。



チーム紹介⑩

4階

こんにちは4Fです。
4Fは身体介助を必要とされる方が多いフロアですが、いつも皆様の元気な声が響いています。今後も利用者様の笑顔やその方々の力を引き出せるケアを心がけてまいります。



後列左より 斎藤えり華 有吉良江 加畑栄子 中村佳央 内藤圭介
清水敦史 藤本亞弥
前列右より 城戸百恵 町田麗奈 酒井康宏 清水志穂 鈴木良則 小林輝明



菊池 裕子 堀川 久美子 金井 久子 竹本 靖 市川 由美
山崎 裕子 釣場 麻里 浅井 恵理子 佐宗 勇太 細谷 敏行
大瀬 夏紀 長 真奈美 成澤 望 西井 春代 島田 真江

お花見



4月5日、絶好のお花見日和の中、2階の利用者様とご家族に参加していただき、当苑近くの公園でお花見を開催しました。

今年は桜の開花が早かったため、予定日には少し葉桜になっていましたが、美味しいお花見弁当に舌鼓を打ち、スタッフの余興も花を添え、皆様の笑顔は満開でした。めでたしめでたし。また来年も皆様の笑顔が見られますようスタッフ一同張り切っていきます。



歌の会



4月24日に歌の会の発表会がデイルームで行われました。一年に一度の発表会で、少し緊張しましたが、気持ちをひとつにして楽しく歌うことができました。最後は観客の方からアンコールもあり、とても盛り上がりました。来年の発表会を目指して、また一年頑張ります。



新入職員紹介

末廣 敦 (理学療法士)

理学療法士の末廣敦です。少しでも、皆様のお役に立てよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



松本 広子 (作業療法士)

初心を忘れず地域の皆様のために、明るい笑顔で頑張っていきたいと思っております。



山下 浩平 (作業療法士)

4月から国立あおやぎ苑でお世話になっています。お酒、タバコ、ギャンブルは全くしません。趣味は釣り、TVゲーム、将棋です。よろしくお願い致します。



私のふるさと自慢

こんにちは、作業療法士の有島です。今回は僕の生まれ育った故郷でもある静岡県裾野市をご紹介します。

裾野市は静岡県の東部地域に位置し、北に霊峰富士を仰ぎ東に箱根山、西に愛鷹山に囲まれた富士山のふもとに広がる自然豊かなところです。裾野市の自慢は、なんといっても世界の富士山とともに生き、富士山と会話できる町ということです。

富士山のことを生き活きと自慢してみましたが実は僕、まだ一度も富士山に登った事ありません。すみません。

富士山以外にも裾野市には自慢があります。それは水と空気がきれいで美味しいということです。裾野市では自宅の水道が富士山の雪解け水であるため蛇口をひねればそのまま水を飲む事ができます。東京に初めて来た時に水を買う習慣があることに驚きました。

僕は裾野市から見る富士山が日本一美しいと自信をもっております。是非皆さんも機会がありましたら裾野市へお越し頂き、富士山をじっくり眺めてみてください。きっと元気になれるですよ。



作業療法士 有島洋平